

附属教育実践総合センター 「教師のたまご」遊び心と即戦力UP(受かる力UP) の活動報告

「教師のたまご」4回生の遊び心と即戦力UPグループの今期1回目の活動として、令和7年1月30日に、大津市立青山小学校の小野澤 稔香 校長先生を講師にお迎えし、「レクリエーション技法を取り入れた人間関係づくり」と題した研修を実施しました。今回の活動には、3回生の受かる力UPグループと教職大学院の学生にも参加を呼びかけ、合わせて18名の学生が参加しました。



図1: 自己紹介をされる小野澤先生

【講 師】

お名前：小野澤 稔香 先生
(大津市立青山小学校 校長)

小野澤先生は、びわ湖フローティングスクール所長・滋賀県レクリエーション協会副理事長・日本けん玉協会滋賀県支部副支部長などを歴任され、また、「滋賀の教師塾」でも講師を務めておられる、遊び心を備えた優れた実践家の先生です。

当日は、「レクリエーション技法を取り入れた人間関係づくり」の研修って何をするんだろう？と、やや緊張気味に集まった参加者達でしたが、小野澤先生から紹介されるレクリエーション技法を実際に体験しているうちに、「わーっ」という歓声があがったり、思わず笑いが起きたり、時間の経過と共にすっかり和やかな雰囲気になりました。

誰もが子どものころから知っているレクリエーションもたくさんありましたが、基本のゲームをした後にルールを変えていく面白さや、学級でレクリエーションをする際に、誰もが嫌な気持ちにならない工夫や留意点を教えていただき、楽しく体験しながら参考になることをたくさん学べた、あっという間の90分でした。

「教師のたまご」の担当で、この研修の企画者である齊城先生の、「子どもと共に楽しめる遊び心を持った先生になり、現場で直面するであろう難局にも柔軟性を持って乗り越えてほしい」という思いも、参加者にしっかりと伝わったことと思います。



図2: レクリエーション体験(その①)



図3: レクリエーション体験(その②)

以下に、当日参加した学生から寄せられたコメントを紹介します。

- 緊張して教室に入ったが、最後は緊張がすべてほぐれていた。大人でもこれだけ、レクリエーションの効果があるのだと改めて実感できた。来年度からの実践にぜひ生かしていきたい。
- 教師の話力で子どもを惹きつけることは、初任の自分たちに難しいと思います。しかし、今日のようなレクリエーションは、教師の力というよりも「子ども達同士の力」と、教師の進行でできる「雰囲気のよい風土づくり」だと実感しました。
- レクリエーションによって、教室の雰囲気が変わるだけでなく、その後の交流関係も広がるのが良いなと感じた。

- 現場に出てすぐにやってみたいものばかりで、とても楽しかったです。
- 子どもたちを惹きつける遊びについてたくさん学ぶことができた。簡単なルールで安全に楽しめる活動が大切だと改めて感じた。4月から現場で活かしていきたい。
- 自分はコミュ力がないので不安しかったが、ものすごく充実した時間になった。今日学んだことを教師になったときに活かせるようにしたいと思う。ありがとうございました。
- 動画がなくても気軽にできるレクリエーションを知ることができてとてもよかった。レクリエーションをする時のポイント、考え方もとても学びになった。



図4:レクリエーション体験(その3)

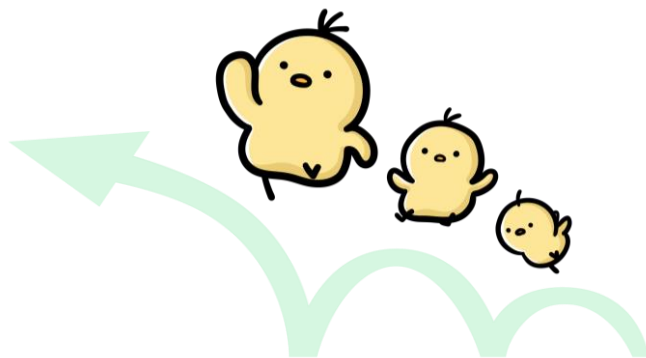


図5:レクリエーション体験(その4)



図6:レクリエーション体験(その5)

- 最初は、回生が違う人も多くて、とても緊張していましたが、活動をしているうちにいつの間にか仲良くなり、笑顔も増えて楽しく活動することができました。
- 同じ遊びでも少し条件を変えるだけでこんなに面白くなるのだなということを理解した。最後に先生がおっしゃっていたように、子どもと一緒に笑える先生を目指したいと思います。
- アイスブレイクの方法論などを学べる場所は少ないのでとても勉強になった。
- 時間が経つにつれ場の雰囲気やがどんどん暖かくなっていくのが分かって、居心地が良かったです。小野澤先生の教えてくださったレクリエーション、全て将来やってみたいです！



- 何度か一緒にペアになったり、初めてでも協力しあったりしていくうちに、自然と仲良くなれた気がします。子どもたちもきっと同じで、初めてで緊張する場面だからこそ、教員や友だちと一緒に笑顔になれる機会や、無意識に協力している時間をもてることが、仲間づくりのきっかけになるのだと感じました。
- できる、できないだけでなく、意外性を楽しんだり、人と繋がれた喜びを感じられました。引き出しをたくさんつくって子どもと楽しみたいと思います。

✦ 教師力養成サークル『教師のたまご』は、教師力の向上をめざす学生の主体性を支援したいと考え、令和5年度から附属教育実践総合センターで立ち上げたサークルです。本活動は、令和6年度から「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部機能強化事業」の一環として実施しています。

✦ 活動は、教育学部附属教育実践総合センター 地域実習担当の齊城勝美、高田聡、横尾博邦の3名の特任教授が担当しています。